

# 養殖事業の先行事例学ぶ

## 水産部会視察研修会

### 八雲町・函館市を訪問



八雲町の種苗生産施設を視察する一行

水産部会(笛谷智貴部会長)では、今年度の重点項目に「水産増養殖事業の実施に向けた情報収集と側面的支援」を掲げ活動しており、1月27日(火)、28日(水)に水

産養殖に関する視察研修会を実施。部会役員ら7人が参加した。27日は八雲町のトラウトサーモン種苗生産施設と熊石漁港を訪問し、八雲町水産課の吉田一久課

長、多田玲央奈課長補佐、青山智哉氏、ひやま渔业協同組合の西村俊昭専務理事、(同)海サーモンの高橋聖治代表の説明を聴取した。同時に町営施設で種苗を生産し、地元漁業者3名により設立した(同)海サーモンが海面養殖を担当自立経営体制を確立している。また、生産した種苗は八雲町の近隣地域などにも供給を行なっている。観察では、種苗の育成サイクルや病気対策、海面養殖の管理体制、コス

トなど、生産や運営に関することのほか、増産に対する施設の拡張が計画されていることなどが説明された。

八雲町の種苗生産施設を視察する一行

八雲町の種苗生産施設を視察